

国際人権団体
大手衣料チェーン
「ユニクロ」(ファース

ユニクロ海外下請け工場 過酷な労働環境訴え

長時間残業 ■化学薬品の危険知りされず



記者会見するソフィー・チェン（中央）と、伊藤和子（右）の両氏ら＝25日、東京都千代田区

トリテイリング社の海外下請け工場での深刻な労働環境の実情を伝えようと、中国の労働問題を調査している香港のNGO「SACOM」のソフィー・チェンさんが来日し、日本の国際人権NGO「ヒューマンライツ・ナウ」事務局長の伊藤和子弁護士とともに25日、東京都内で記者会見しました。

2015年に中国国内の4工場で行った調査結果を報告しました。うち2工場は、14年調査の追跡調査で

す。同2工場では前回の調査報告を受け、残業時間の短縮など、改善が確認できたといえます。一方で、使用する化学薬品が健康に及ぼす危険性が周知されず、

扱い方の研修も不十分であることなどが明らかにされました。また、月150時間の残業などの長時間労働や、社会保険料の滞納など労働者の権利侵害が多数判明していま

る必要がある」と語りました。このほか、社員が会社側から圧力を受けることなく労組の代表を選出できる環境をつくる必要性などを報告しました。SACOMとヒューマンライツ・ナウなどは、ファーストリテイリング社に対し、下請け工場での労働環境の改善に責任を果たすことなどを求める共同声明を発表しました。

扱いは、基本給が低いため、長時間残業しなければ生活できる賃金「基本給を上げ、賃金構造そのものを改善する」と語りました。